



<報道資料>

2012年6月11日  
株式会社radiko

## 『radiko.jp』の月間ユニークユーザー数が1,000万人を突破

株式会社 radiko(代表取締役社長:岩下 宏、所在地:東京都港区新橋)が運営する『radiko.jp』の4月の月間ユニークユーザー数が1,046万人(※)となり、2010年3月15日のサービス開始以来2年余で1,000万人を突破しました。『radiko.jp』はパソコンやスマートフォンでラジオを聴けるIPサイマルラジオサービスです。

※ユニークユーザー数1,046万人/月はパソコン、ガジェット、スマートフォン(iPhone、Android)それぞれで回数に関わらず、利用した人数の合計です。一人の方が複数のデバイスを利用した際は、それぞれのデバイスで1ユニークユーザーとカウントします。

当社ではユニークユーザー数が1,000万人/月に至った理由を、これまでの活動や社会環境の変化から以下のように考えています。

1. 東日本大震災後の、ラジオに対する生活者意識の高まり
2. 『radiko.jp』参加放送局の増加と配信地区の拡大
3. スマートフォンの普及

一方、聴取ツールのダウンロード数は、ガジェットが約400万DL、スマートフォンアプリが約500万DLに達し、平均週間延べ聴取回数は約700万回前後で推移しています(すべて6月1日現在)。

こうしたWEB経由、各聴取ツール経由でのラジオ聴取が拡大するにつれて、各放送局では、『radiko.jp』と連動した番組制作の試みが増えています。例えば、番組関連情報をはじめ番組出演者、スタジオ等の画像がリアルタイムで『radiko.jp』画面に掲出されるといった、新たなラジオの楽しみ方を提案しています。

また、『radiko.jp』画面上から各種SNSへのアクセスを容易にしていることで、パーソナリティとユーザーだけでなく、ユーザー同士にまでコミュニケーションが生まれ、ユーザーの聴取スタイルが、“聴く『radiko.jp』”から、“参加して、楽しむ『radiko.jp』”へと変容がはじまっています。

今後も、ラジオの「聴取機会の拡大」や「難聴取の解消」を目的とした『radiko.jp』は、情報過多の中で、言葉、音楽、スポーツの感動を通して、人の心を動かし、想像力をかき立てる音声メディア(=ラジオ)の存在意義をより高めるために、聴取環境を整え、ネットとの連携によって、引き続き、新しいラジオの楽しみ方を提案し、『radiko.jp』ユーザー(=ラジオリスナー)を拡大し、ラジオの媒体価値の向上を目指します。

<参考資料>

## IP サイマルラジオサービス『radiko.jp』の沿革

- 2010年03月15日 IP サイマルラジオ協議会により『radiko.jp』の実用化試験配信開始  
【関東7局(配信地区:東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)/関西6局(配信地区:大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)計13局】
- 2010年04月12日 radiko ガジェット公開
- 2010年05月10日 iPhone 版公式アプリの提供を開始
- 2010年07月27日 Android 版公式アプリの提供を開始
- 2010年12月01日 株式会社 radiko を設立、『radiko.jp』に参加する13局の配信を実用化試験配信から本配信へ移行  
【関東7局(配信地区:茨城県・群馬県・栃木県を含む1都6県に拡大)  
/関西6局(配信地区:滋賀県・和歌山県を含む2府4県に拡大)】
- 2011年03月13日 東日本大震災への緊急特別対応として配信エリア制限を解除  
(制限解除期間は関西地区各局:3月31日まで、関東地区各局:4月11日まで、  
中京地区各局:3月25日から3月31日まで)
- 2011年03月25日 中京地区へ拡大、中京6局が新たに参加、実用化試験配信開始  
(本配信9月26日開始)
- 2011年04月12日 関東周辺、関西周辺11局が新たに参加、実用化試験配信開始  
(本配信10月12日開始)
- 2011年04月20日 北海道地区へ拡大、北海道3局が新たに参加、実用化試験配信開始  
(本配信10月20日開始)
- 2011年04月22日 福岡地区へ拡大、福岡4局が新たに参加、実用化試験配信開始  
(本配信10月24日開始)
- 2011年04月28日 『radiko.jp』復興支援プロジェクト開始  
復興支援サイトにて、主な被災地区(岩手、宮城、福島、茨城)のラジオ7局を全国に配信  
(2012年3月31日終了)
- 2011年07月01日 FM 滋賀、FM 京都が新たに参加、実用化試験配信開始  
(本配信2012年1月1日開始)
- 2011年07月20日 広島地区へ拡大、広島2局が新たに参加、実用化試験配信開始  
(本配信2012年1月23日開始)
- 2011年10月03日 静岡、長野、石川、鹿児島、各地区へ拡大、計7局が新たに参加、実用化試験配信開始  
(本配信2012年4月2日開始)  
PCサイトをリニューアル(SNSとの連携を強化)
- 2012年01月30日 福井、島根、鳥取、長崎、熊本、各地区へ拡大、計6局が新たに実用化試験配信開始  
(本配信7月予定)
- 2012年04月02日 岩手、宮城、福島、新潟、富山、大分、宮崎、各地区の計11局が新たに実用化試験配信開始(本配信10月予定)  
ラジオ NIKKEI 及び放送大学が全47都道府県へ配信開始  
※『radiko.jp』の参加局は民放ラジオ65局と放送大学

■都道府県別の『radiko.jp』聴取可能局一覧

都道府県名	『radiko.jp』聴取可能局(4月2日時点)			
1 北海道	北海道放送、STVラジオ、エフエム北海道			
2 青森県	-			
3 岩手県	IBC岩手放送			
4 宮城県	東北放送			
5 秋田県	-			
6 山形県	-			
7 福島県	ラジオ福島			
8 茨城県			茨城放送	
9 栃木県	TBSラジオ		エフエム栃木	
10 群馬県	文化放送 ニッポン放送		エフエム群馬	
11 埼玉県	InterFM		アール・エフ・ラジオ日本	
12 千葉県	TOKYO FM		ベイエフエム	
13 東京都	J-WAVE		エフエムナックファイブ	
14 神奈川県			横浜エフエム放送	
15 新潟県	新潟放送、エフエムラジオ新潟、新潟県民エフエム			
16 富山県	北日本放送、富山エフエム放送			
17 石川県	北陸放送、エフエム石川			
18 福井県	福井放送			
19 山梨県	-			
20 長野県	信越放送、長野エフエム放送			
21 静岡県	静岡放送、静岡エフエム放送(K-MIX)			
22 岐阜県	中部日本放送、東海ラジオ放送			
23 愛知県	岐阜放送、ZIP-FM、エフエム愛知			
24 三重県			三重エフエム放送	ラジオNIKKEI
25 滋賀県	朝日放送		エフエム滋賀	放送大学
26 京都府	毎日放送		京都放送、エフエム京都	
27 大阪府	ラジオ大阪 FM COCOLO		ラジオ関西	
28 兵庫県	FM802			
29 奈良県	FM OSAKA			
30 和歌山県	兵庫エフエム放送		和歌山放送	
31 鳥取県	山陰放送			
32 島根県				
33 岡山県	-			
34 広島県	中国放送、広島エフエム			
35 山口県	-			
36 徳島県	-			
37 香川県	-			
38 愛媛県	-			
39 高知県	-			
40 福岡県	RKB毎日放送、九州朝日放送、ラブエフエム国際放送、エフエム福岡			
41 佐賀県	-			
42 長崎県	長崎放送、エフエム長崎			
43 熊本県	熊本放送、エフエム熊本			
44 大分県	大分放送、エフエム大分			
45 宮崎県	宮崎放送			
46 鹿児島県	南日本放送			
47 沖縄県	-			